※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 316 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | (学) 世界史演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | アカデミア世界史（浜島書店）<br>詳説世界史 10 分間テスト(山川出版社) | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２学年で学習した世界史探究で得た歴史的な知識を活用し、特に東アジア世界や東南アジア世界の成り立ちと発展を考察し、遊牧民・オアシス民・農耕民との交流についてもグローバルな視点から学習する。世界史を学ぶ上で必要な時間軸や地域軸といった多角的な視点から世界史を捉え、情報を整理しながら学習することが大切です。学習プリントのみならず、ノートや副教材を積極的に活用して、主体的に学習することが必須となる。

2　学習の到達目標

①東アジア世界・東南アジア世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から両世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②東アジア世界・東南アジア世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③東アジア世界・東南アジア世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 東アジアの歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能が身に付いている。 | 東アジアの歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。 | 東アジアの歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に学習しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重する姿勢が身についている。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 諸地域の交流・再編 | 1. 東アジア世界の展開とモンゴル帝国<br>2. 大交易・大交流の時代<br>3. アジアの諸帝国の繁栄 | a:内陸アジアと東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能が身に付いている。<br>b:東アジア諸地域に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解くことができる。また歴史的に形成された諸地域の多様性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。<br>c:東アジア諸地域の多様性について, そこでみられる課題を主体的に追究し、学ぶ姿勢が身についている。 | 中間<br>考査<br>期末<br>考査 | 中間<br>考査<br>期末<br>考査<br>提出物<br>等 | 振り返り<br>シート<br>提出物<br>等 |
| 2学期 | 諸地域の結合・変容 | 1. アジア諸地域の動揺<br>2. 帝国主義とアジアの民族運動 | a:近世の東アジアの位置づけを理解し、世界各国との関連性を理解しながら、基礎的な知識が身についている。<br>b:近世から近代へ移り変わる世界の中で東アジア諸国がどのように関わり、その影響でどの様な変化が起きているのかを考え、多角的な視点から説明でき、他者と議論できる力が身についている。<br>c:近世、近代の東アジアにおける変化をグローバルな視点から捉え、どのような関連性があるのかを考察・判断し、諸課題についての原因を主体的に学習して解き明かそうとする態度が身についている。レポート課題について自ら学習し、積極的に取り組む姿勢を持っている。 | 中間<br>考査<br>期末<br>考査 | 中間<br>考査<br>期末<br>考査<br>提出物<br>等 | 振り返り<br>シート<br>提出物<br>等 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 全般 | 1. 東アジア史全般に関する問題演習 | a:東アジア史全般についての知識が定着しており、基礎的な入試問題等に対応できる力が身についている。<br>b:東アジアと他地域との関連性を理解し、地域複合的な応用問題にも時間的、空間的把握ができ、事象を明確に説明できる。また、論述問題についても学び得た知識を活用し、与えられた条件を満たす内容が構成できる。<br>c:東アジアのみならず、世界諸地域の課題を考え、様々な課題を関連付けながら捉えるとともに、東アジア諸地域の問題解決に向けた主体的な学習に取り組む態度が身についている。 | 確認小テスト | 確認小テスト提出物等 | 振り返りシート提出物等 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度